

平成29年度 児童養護施設ハーベスト 事業報告書

【平成29年度まとめ】

今年度においては、学校、各機関の援助を受けながら、30名の児童の成長や自立の為の支援を行ってきました。小学2・6年生、中学2年生、高校1年生の登校に関しては、職員が協力し登校支援を行う中、来年度においても引き続き支援が必要となることが予想されるようです。その主な理由として、学習面での躓き、友人関係、思春期、心理・精神的な問題、コミュニケーション能力の欠如、精神疾患など様々な要素が複雑に絡み合い、その解決の糸口がなかなか見出せずにいるのが現状となっています。引き続き、関係機関、学校との連携を密に行いながら、子どもたちの最善の利益を図れるよう努力していかねばならない課題の一つとなっております。その他、虐待を受けた児童も多く在所しており、重い愛着障害を抱え、信頼できる大人との一対一の関わりを築く為に職員も寄り添い日々の生活を支援しています。家庭支援においても、児童相談所各担当ケアワーカーと連携を図りながら、家庭復帰が早期に実現できるよう、面会等を通じ支援を行ない1名の児童を家庭に送り出しました。

施設における行事では、各ユニットにおいて、外出機会を設け児童と職員との信頼関係の構築と児童の健やかな成長、思い出作りなどの支援を行いました。今後は地域の方々に施設内での行事等に参加していただき、また地域の行事と一緒に参加する中でハーベストの存在をより認知していきます。

改正児童福祉法が施行され、「新しい社会的養育ビジョン」が示されました。在宅支援を基本とする社会的養育、そしてその子ども家庭を支援する為の市町村等の体制強化、就学前の子どもは、家庭養育原則を実現するため、原則として施設への新規措置入所を停止するなど、これにより乳児院等児童福祉施設の抜本的機能転換が図られることとなります。施設で培われた豊富な体験による子どもの養育の専門性をもとに、施設が地域支援事業やフォスタリング機関(里親への包括的支援体制)事業等を行う多様化を乳児院から始め、児童養護施設・児童心理治療施設、児童自立支援施設において順次行っていくことも「新しい社会的養育ビジョン」のなかで示されています。従来の「社会的養護の課題と将来像」(平成23年7月)に基づいて策定された都道府県等の計画については、この「新しい社会的養育ビジョン」に基づき、平成30年度末までに見直しが行われ、ビジョンで示されている様々な支援策、支援体制の構築について盛り込まれることとなります。当施設においても、今後県が策定する計画内容に準じ、児童養護施設としての新しい機能の付加と強化について模索していかねばなりません。

【措置児童の推移】

4月 1日	男女計 28名でスタート
7月 18日	女子1名措置入所 (29名)
9月 15日	男子1名措置入所 (30名)
12月 20日	男子1名措置入所 (31名)
12月 25日	女子1名措置解除 (30名)

[各委員会報告]

感染症対策委員会

- ・栄養士による食中毒防止研修
- ・感染症発生時の対応と記録
- ・感染症対応時の用具の準備と管理

給食委員会

- ・二ヶ月に一回富士産業との会議
- ・嗜好調査の実施
- ・感染症に配慮した食事管理の徹底

学習指導委員会

- ・学習ボランティアの導入
- ・小中学生対象の相談室での学習支援

年間行事委員会

- ・全ユニット参加バーベキュー
- ・クリスマス会の開催
- ・各ユニットごとの行事

防災委員会

- ・月一回の災害訓練の実施
- ・防災学習会の実施
- ・防災設備会社による防災機器取扱い講習
- ・備蓄品等の確認

施設内検証委員会

- ・全体会議での施設内検証の実施
- ・野生動物による食害により、屋外ゴミ置き場の新設
- ・天災（台風・大雨・雪害等）による児童の安全確保と被害拡大防止

保健衛生委員会

- ・感染症委員会と連携してのノロウイルス対策
- ・医薬品の管理、整理、注文
- ・食中毒予防策として、冷蔵庫内外の賞味期限切れ等の整理

苦情解決委員会

- ・意見箱等へ出された苦情の解決
- ・申し出人が解る場合の本人への説明
- ・結果報告書の施設内掲示

[主な行事]

- 4月 小中高入学式・始業式
小学校定例会（ハーベストにて）
小中家庭訪問
春の外出（なでしこ・すずらん・すいせん・りんどう）
- 5月 わんぱく相撲大会参加（小学生）
外出行事（東京外出 なでしこ）
農業体験（富士吉田警察署・少年補導員連絡協議会）
小中授業参観
小中修学旅行
高校定時制総体
小学校遠足・林間学校
中定期テスト
- 6月 市内中学総体
各児童相談所連絡会
すずかけ交流会（地域のお年寄りとの交流会）
高定期テスト
小授業参観
- 7月 中授業参観
いちいの木納涼祭
第三者評価訪問
中学三者懇談・小中高終業式
- 8月 国福大神社祭典
施設内バーベキュー（全ユニット）
ラウンドワン外出（すいせん・りんどう）
新江ノ島水族館外出（なでしこ）
ファンタジーキッズリゾート武蔵村山外出（すずらん）
吉田の火祭り
里親研修（里親さんとの交流外出 すずらん）
小中高始業式
山梨県監査指導
健康診断（全児童）
- 9月 中学園祭・体育祭
幼小運動会
健康診断（全職員）
- 10月 幼小遠足
農業体験（富士吉田警察署・少年補導員連絡協議会）
小親善音楽会
北稜体育祭
里親施設研修
- 11月 小金管演奏会

- みかん狩り外出（なでしこ・すずらん）
- 小中バンドフェスティバル
- 演劇観賞（すずらん）
- 都留児童相談所連絡会
- 小学校個別懇談
- 12月 高校修学旅行
- 小スケート教室
- 幼稚園クリスマス会
- 中央児童相談所連絡会
- 中期末テスト・三者懇談・終業式
- ハーベスト クリスマス会（各ユニット）
- 1月 年始外出（身延山・高尾山 全ユニット）
- 幼小中高始業式
- 高定期テスト
- 中進路相談
- 下中入学説明会
- 小学スキー教室
- 2月 愛染地蔵尊祭
- 小中授業参観
- 高校前期入試
- 3月 幼保育参観
- 小中高卒業式
- 高校入試
- 入試結果発表
- 卒業祝い外食

- その他 月例全体会議
- 施設内職員研修
- 外部研修
- ユニット会議
- 必要に応じた子ども会議
- 誕生会
- 実習生受け入れ
- 避難訓練
- 隔月の東小学校定例会

[平成 29 年度ハーベスト入所児童たちの功績]

1. 進 学 山梨短期大学保育科 1名 / 専門学校 読売自動車大学校 1名
ひばりヶ丘高等学校 1名
2. 就 職 株式会社 平山
3. 表 彰 平成 29 年度山梨県高等学校新人相撲大会 個人優勝

[各団体及び個人からの寄贈について]

- ・ 山梨県ボランティア協会様より 富士急ハイランド乗り物チケット 40 枚
- ・ 山梨県ボランティア・NPO センター様より ミュージカルチケット 4 枚
- ・ 吉祥寺様より お供物多数
- ・ 寿徳寺様より お供物多数
- ・ プレムラワット様より 絵本
- ・ 市内小中 PTA 様より 家電製品・子供用衣服バック等 多数
- ・ ヨハネ学園様より パン 50 個
- ・ ソロプチミスト 山梨芙蓉様より 現金 60,000 円
- ・ 小児救急センター 齋藤様より 子供服多数
- ・ 南都留農業改良普及センター様より とうもろこし・トマト等 多数
- ・ 広瀬様より 桃 2 箱
- ・ 松野様より スイカ・ぶどう・パイン等多数
- ・ 萩原様より 桃 73 個
- ・ かいしゃ様より ジャガイモ・キャベツ等多数
- ・ 後藤様より トウモロコシ多数
- ・ 日本調剤昭和や通り薬局様より ジュース 2 箱
- ・ カーブス様より 食料品多数 電化製品等
- ・ こどもとくらし様より 生活用品多数
- ・ ほっともっと様より DVD 2 枚
- ・ 全国シャンメリー協会様より シャンメリー 24 本
- ・ 日本鏡餅組合様より もち 多数
- ・ 富士吉田市社会福祉協議会様より 精米大袋 3 俵 フェイスタオル 50 枚
- ・ 上田様より 自作竹とんぼ 台付 5 本
- ・ 舟久保様より 新倉柿 110 個
- ・ 楽天 (株) 様より クリスマスプレゼント 30 人分
- ・ ワールドメイト様より クリスマスプレゼント 30 人分
- ・ アサヒ飲料様より カルピス 1 箱
- ・ ケーエス様より ¥93,000 円とおかし 30 人分
- ・ ボーイスカウト 吉田第 1 団様より もち 多数
- ・ 毎日新聞社様より おもちゃ、文具、ボール 多数